

—— 漁業漁村における多面的機能とは ——

漁業生産活動によって生じる漁業への直接的効果以外の地域経済への寄与、雇用の拡大、海の環境保全などの間接的な効果です。

特に、地球温暖化の防止や海洋生物の保護、水質浄化機能など、豊かな海を育む機能は、漁業漁村の持つ多面的機能のうち最も大切な機能と考えられます。

本県では、下記の5団体が市民や企業、NPOなどと協力して令和3年度から6年度までの4ヶ年間、藻場やサンゴ礁の保全に取り組み、これらの活動を通じて、地域水産業の再生と漁村の活性化を図ることになりました。

CONTENTS

■ 榛南磯焼け対策活動協議会	1
榛南地域では、サガラメやカジメの群落が増加しており、その復活を目指します。	
■ 南伊豆伊浜藻場保全協議会	3
伊豆地域では、カジメやアラメなど大型海藻類が枯死する現象が見られ、磯焼け対策が急務となっています。	
■ 伊豆FNY活動組織	5
伊豆半島の南伊豆地区では、人為的な環境汚染などの影響を受けてサンゴ群落が増加しており、サンゴ礁の環境保全を目指します。	
■ 北限域（内浦湾）の造礁サンゴ群落保全会	7
駿河湾奥の内浦湾では、造礁サンゴ（エダミドリイシ）の北限域となっており、群落の保全が課題となっています。	
■ 富戸藻場再生協議会	9
伊豆半島東海岸の富戸地区では、カジメ・アントクメ・ワカメ等の藻場が衰退したことから、その復活を目指します。	